

# KRC WEB REPORT

## 徒然想

空を見上げれば、いつの間にか秋を感じる雲が群れをなした羊のように流れていました。ふと思えば、ひつじ雲、うろこ雲、さば雲などいろいろな呼び方がありますが、正しくは何雲なのでしょう。調べてみると、巻積雲（けんせきうん）や高積雲（こうせきうん）の俗称だとのこと。ほぼ年中見られますが、秋に多く見られることから秋の季語にもなっているようです。とは言え、私は「柿くえば鐘が鳴るなり法隆寺」と申し上げて、美味しい柿でも食べたいたいものだと思う秋でございます。季節の変わり目ですので、皆様どうぞご自愛くださいませ。

## TECHNICAL TOPICS 今月の技術情報

### 「ひずみ可視化デバイス (SVD-1)」 間もなく発売開始！

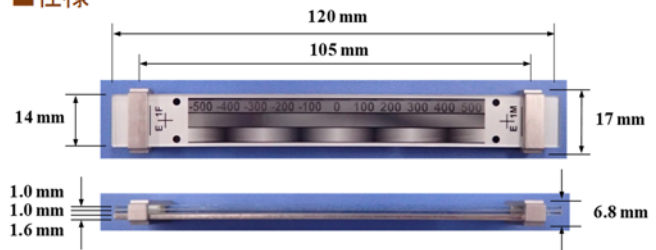
ひずみの新たな計測用センサとして開発を進めて参りました「ひずみ可視化デバイス」が遂に完成しました。現在、発売開始に向けて急ピッチで準備を進めており、来月中の発売開始を目指しています。

ひずみ可視化デバイスは、モアレ縞の原理を用いてひずみを計測するセンサで、概略のひずみを定量的に目視で確認できるとともに、一般的なデジタルカメラで撮影したデジタル画像を解析することにより、より精度の高いひずみ値を得ることができます。構造がシンプルで電気的な要素も使用していないことから、長期耐久性に優れており、社会インフラの長期モニタリングに適しています。是非、ご活用いただければ幸いです。

#### ■特長

- ①電源不要  
→ 究極の省電力タイプのセンサです。
- ②“ひずみ”を見える化  
→ 目視で定量的にひずみを確認できます。
- ③デジタル画像からひずみを算出  
→ デジタルカメラでひずみを計測できます。
- ④自己温度補償  
→ コンクリートおよび軟鋼材料に対して自己温度補償します。
- ⑤長期耐久性  
→ 屋外の厳しい環境下で5年以上の耐久性を有します。

#### ■仕様



標点間距離	105 mm
判読容量	±500 με※
可視化分解能	50 με
計測精度	< ±20 με
外形寸法	17 mm×120 mm× t 6.8 mm

※連続画像撮影の場合、容量±10000με

#### ■計測方法

##### ①目視による“ひずみ”の評価



目視による“ひずみ”の確認

##### ②デジタル画像解析による“ひずみ”の評価



デジタルカメラによる写真撮影

画像解析プログラム（無償提供）

詳しくは、弊社HPもご覧ください。 <http://www.krcnet.co.jp/topics/topics138.html>